

宮崎市 性的少数者に関する啓発誌「レインボー」を活用した学習指導案

今回、啓発誌「レインボー」を活用した学習指導案（中学校「学級活動」）を作成しました。この啓発誌を子どもたちの学びのために有効に活用していただけたら幸いです。

なお、この指導案は、一つの参考案として示すものです。学級の実態等に応じた授業の展開をお願いいたします。

令和5年4月

宮崎市 文化・市民活動課
宮崎市教育委員会 学校教育課
協力：宮崎県人権・同和教育研究協議会

1 題材 性的少数者の正しい理解のために

2 題材設定の理由

近年、性の多様性についての社会的関心が高まっており、メディア等にもたびたび取り上げられています。民間の調査では、約8.9%（電通ダイバーシティ・ラボ「LGBTQ+調査2020」）が、また宮崎市の調査においても約8.5%（令和4年度宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査）が性的少数者であるとの結果が報告されており、宮崎市の調査結果からすると、クラスに1人ないし2人が性的少数者である可能性があります。

性的少数者に関することは、本来私たちの生活において身近なテーマですが、性に関するデリケートな側面もあり、これまで取り上げられることは多くありませんでした。この状況が、誤った情報や差別的な意識の蔓延を生み、学校現場などで性的少数者がいじめの対象となる原因ともなっています。

宮崎県においては、地元新聞社が半年間にわたり特集を組み、情報発信に真摯に取り組んできました。その成果もあり、性的少数者について認識が広がりつつあることが推察されます。しかし、性的少数者についての正しく理解しているかどうかは、実態調査が行われていないため不明です。また、教職員を対象とした研修についても、当事者団体を中心に精力的に取り組まれています。子どもたち一人一人の命を守る取り組みとして、今一層の啓発が必要とされています。

このように、性的少数者をめぐる問題は、早急に解決していかなければならない人権課題の一つです。「一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる共生社会」の確立を目指す「第五次宮崎市総合計画」と、「性別にかかわらず ひとりひとりが輝き 思いやりのあるまちづくり」を基本理念とする「第2次宮崎市男女共同参画基本計画（改訂版）」に基づき、当事者や当事者かもしれないと迷ったり悩んだりしている全ての子どもたちが、生き生きと暮らせる地域社会となるよう本題材を設定しました。

3 ねらい

性的少数者を正しく理解し、多様な性を受け入れ、互いの違いを尊重し合う考え方や行動力を身に付ける。

4 人権教育上の視点

- 性的少数者をめぐる人権問題に関する理解を深める。
- すべての人は性の多様性の一部にあてはまることを認識し、性自認及び性的指向をめぐる問題を自分の問題として受け止めさせる。
- 性的少数者を自認する人、迷ったり悩んだりしている人の気持ちに共感できる人権感覚を育成する。

5 指導過程

	学習活動及び学習内容	指導上の留意点 ●…主な発問	準備
導入	1 啓発誌の表紙を見て考えたことを発表する。(表紙・目次)	<ul style="list-style-type: none"> ● これは宮崎市が作成した「性的少数者」について正しく知るために作った資料です。表紙を見て何か気付いたことがありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎の観光地を表している。 ・ 人が楽しそうにしている。 ● みんなが生き生きと生きていくための権利を人権と言います。しかし、TV等では、性的少数者を笑いの対象にする場面などがあります。なぜそんな言葉遣いや態度をとってしまうのでしょうか。それは性的少数者のことを正しく理解していないからではないでしょうか。今日はこの資料を遣って、性的少数者の人の人権を守るための学習をしていきましょう。 	大型テレビ・パソコン・啓発誌
	2 本時の学習内容について知る。 ○ 見た目と性別についての話し合い (P 1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> めあて：いろいろな性のあり方について考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙や目次、特に2人の登場人物について紹介する。 ○ 性別は、服装や髪形など見た目だけではわからないこと、判断できないことに気付かせるとともに、性は男女の二つだけで分けられないことを押さえる。 	めあてカード
展開	3 多様な性のあり方について知る。 ・自分で認める性…性自認 (P 2) ・好きになる人の性…性的指向 (P 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を参考に「性自認の意味」「性的指向の意味」「二人の会話」「ポイント」を押さえる。 ○ 性のあり方がわからない人、決められない、決めたくない人、今後、性が変わる人もいることを伝える。 ○ <u>自分の性別をどのように感じるかは、それぞれ違い、自分の気持ちを大切にすることを押さえる。</u> ○ 誰を好きになるか、誰に魅力を感じるかなど、恋愛にはいろいろなカタチがあることを押さえる。 	
	4 自分自身の性のあり方について考える。(P 4) ・性のあり方は4つの視点の組合せ ・4人の性のあり方 (P 4) ・自分の性のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身の性のあり方について考えましょう。性のあり方については、4つの視点があります。(資料をもとに説明する。特に登場人物の二人の会話は、読んで内容を押さえる。) ○カラダの性・ココロの性・好きになる性・表現する性の4つの要素で決められ、その組み合わせで性のあり方が決まることを押さえる。 ○ 資料の中の4人の性のあり方を一つ一つ説明し、吹き出しの中の表現を参考に、自分の性のあり方を考えさせる。 ※ <u>自分の性については考えさせるだけで、発表させたり紙に書かせたりすることはない。また、性のあり方は自分が知っていればよいことなので、学習後に友だちに聞いたり、詮索したりするなど絶対にしないことを確認する。</u> 	

	学習活動及び学習内容	指導上の留意点 ●…主な発問	準備
展 開	5 LGBTの言葉と意味を知る。 (P5、P6) L…レズビアン G…ゲイ B…バイセクシュアル T…トランスジェンダー Q…クエスチョニング ・ SOGIの意味…全ての人に性的指向・性自認があること ・ 傷つく言葉があること ・ SNSについて	○ 「全ての人に性的指向・性自認がある」ということを伝え、性的少数者が特別な存在ではないことに気付かせる。 ○ 一つ一つの言葉を丁寧に押さえる。 ○ LGBTQは性的少数者の総称の一つとして使われているが、LGBTQだけが全ての性的少数者ではないことを押さえる。 ○ SOGIの説明後、パンセクシュアルやXジェンダー、ノンバイナリーという言葉もあることを知らせる。 ※その人がどれにあてはまるかを考えるのではなく、その人が何に困っているかを一緒に考えることが重要。 ○ 「オネエ」「レズ」「ホモ」「おかま」「おとこおんな」が人を傷つける言葉であることを押さえる。また、実際に言われた人の気持ちや、相手を思いやる言葉遣いが大切であることを伝え、自分たちの生活について振り返らせる。	ことばの表示物 (「LGBTQなど」)
	6 カミングアウト・アウトイングについて知る。(P7、P8) ○ カミングアウトの意味 ・ カミングアウトしたときの、嬉しかった言葉、嫌な気持ちになった言葉 ・ 相談されたときの接し方 ○ アウティングの意味 ・ アウティングは、人権侵害である。	○ 「カミングアウト」するかどうかは、本人が決めることである。その時の対応は、さまざまな悩みにおいても置き換えることができ、相談されたときは、相手の立場に立った言葉かけが大事であることを押さえる。 ○ 当事者が、相談する相手の事を心から信じて伝えていることを押さえる。相談するとき、相談されたときの両方の立場を考え、登場人物の会話をもとに悩んでいることや課題について一緒に考える「なかまづくり」を大切にしていくことを伝える。 ○ 当事者の許可なく性的少数者であることを他人に話すことを「アウティング」と言い、当事者の命を奪う行為にもつながること、当事者の家族間でも本人の許可なしに伝えないことを押さえる。 (特に教職員は、当事者の許可なく保護者に伝えることはしない。) ※ 学校の教職員が、生徒に一番身近な相談相手になれるよう、共に学び続けていきましょう。	
終 末	7 本時の振り返りをする。 ○ 学習後の感想 8 本時のまとめ (P9) ・ ALLYの意味 ・ ALLYとしてできること ・ 悩んだときや悩んでいる人が身近にいる時の相談窓口の紹介(裏表紙) ・ レインボーフラッグ、バッジの紹介	○ AさんとBさんからのメッセージ (P9) は、指導者が声に出して読み聞かせると効果的である。 ○ 一人で悩まず、いつでも相談できるよう啓発誌の裏表紙に掲載している相談窓口を紹介する。 啓発誌を配布できなかった場合は、裏表紙を印刷して配布し説明する。(宮崎市ホームページに掲載) ○ 学習した内容を今後の生活に生かし、共に差別や偏見のない社会にしていけるためには、自分たち一人一人が性的少数者に関する正しい知識を身につけることが第一歩であり、相手の気持ちに寄り添った言動や、相談できる「なかまづくり」が大切であることを伝える。	相談窓口資料(啓発誌を配布できない場合) ワークシート・レインボーフラッグ

[教職員の皆様へ]

★正しい知識と理解を図るために具体的な授業をすることが、子どもたちとの関わり方を変え、いじめや差別のない学級・学校づくりに繋がることを期待されます。

★ 授業や指導、研修後に、性的少数者を探したり、子どもたちを当てはめて考えたりすることは、当事者をとても傷つけることにつながるため、絶対にしないようにしましょう。